

東青山六階節

- 1 おらがやあー わっかい時い 弥彦山(やひこやま)あ かついだいの (はあー どしたあ どしたあ どしたあ)
 合あじや歳い取とって まあーたいのうーやあーれえー
 いやさ 担(かつ)がれないいの (はあー どしたあ どしたあ どしたあ)
 いやさ 担(かつ)うがあれぬ いやさやあー
 (すっちょいさあ すっちょいさあど すっちょい すっちょい すっちょいさあど)
- 2 親おのなあー 意見いとお 茄子(なす)びのお 花は、いの (はあー どしたあ どしたあ どしたあ)
 十(じゅう)にいひとつも まあーたいのうーやあーれえー
 いやさ 網あ駄(むだ)は、網(な)いの (はあー どしたあ どしたあ どしたあ)
 いやさ 網あ駄あは、一あ網い いやさやあー
 (すっちょいさあ すっちょいさあど すっちょい すっちょい すっちょいさあど)
- 3 咲あいたやあー さくらいにい なぜえ 乙おま つなぐいの (はあー どしたあ どしたあ どしたあ)
 乙おまが いさめば まあーたいのうーやあーれえー
 いやさ 花はが散(ち)るいの (はあー どしたあ どしたあ どしたあ)
 いやさ 花はが散る いやさやあー
 (すっちょいさあ すっちょいさあど すっちょい すっちょい すっちょいさあど)
- 4 してもなあー したあがあるう 十じゅう七しち、八(はち)は、いの (はあー どしたあ どしたあ どしたあ)
 親おもさせたがる まあーたいのうーやあーれえー
 いやさ 針はりは事ことの (はあー どしたあ どしたあ どしたあ)
 いやさ 針はりは事 いやさやあー
 (すっちょいさあ すっちょいさあど すっちょい すっちょい すっちょいさあど)
- 5 あまりやあー 長ながいのどう 踊おどりあが 疲あれるよ (はあー どしたあ どしたあ どしたあ)
 ますは、ここららで まあーたいのうーやあーれえー
 いやさ 一い体たいいの (はあー どしたあ どしたあ どしたあ)
 いやさ 一い体たい いやさやあー
 (すっちょいさあ すっちょいさあど すっちょい すっちょい すっちょいさあど)

* 3番の、乙まは、跳ね駒の意味 ~ せっかく綺麗に咲いた様に、どうして跳ね駒をつなぐのか。
 全部様が散ってしまうじやないか。